

高機能農業用塗布型POフィルム

全光線透過率

リアルバランス

散乱光

カゲナシ5 ファイブ

UV

紫外線をカットするのも
カゲナシの方がいいでしょ

散乱光 + UVカット

全光線透過率を下げずに散乱光を増やします。

今度も
やっぱりいいね、
思わず見とれて
おりました。



日焼けを
防止するなど
環境改善に
役立つって
すばらしい
もんだねえ。



光線が均一に
作物に
あたるったあ、
大喜びだな。



高機能農業用途布型POフィルム

カゲナシ5 ファイブ UV



散乱光にUVカットが備わり、カゲナシ5UV登場!



特 長

散乱光+UVカット

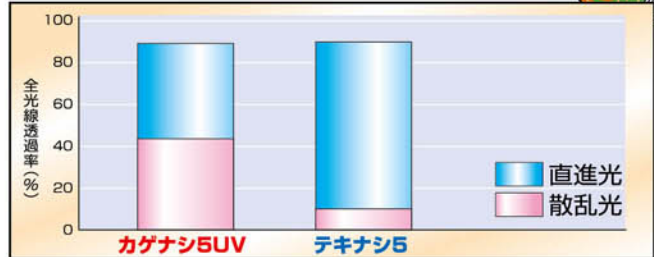
- 散乱光が多く入るため、作物の葉ヤケ・芽ヤケの抑制になります。
- 散乱光が多く入るため、作物の下側にも光が当たり、果樹・果菜の色付きが均一になる事が期待できます。
- 防滴剤をコーティング処理してありますので、防滴効果が長期間持続します。
- 害虫発生・病害抑制効果が期待でき、作業の省力化にもつながります。
- 減農薬効果により、作業中・農作物にも安心!!

●カゲナシ5UVの規格

厚さ (mm)	幅 (cm)						長さ (m)
0.15	135	150	185	200	230	270	1m単位で加工可能
	300	330	370	400	430	460	
	500	540	570	600	630	660	
	700	740	770	800	840	860	
	900	930	960	1000			

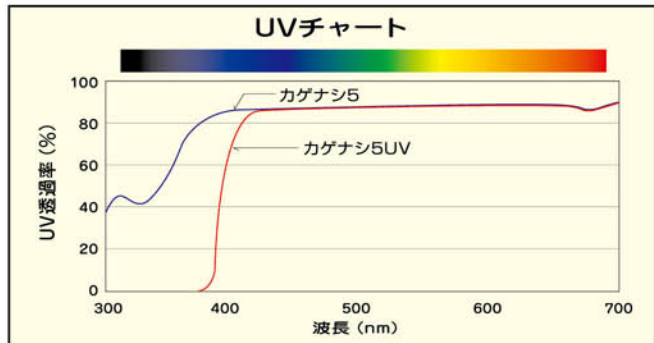
※規格については別途お問い合わせ願います。

●光線特性



※この数値は測定値であり、保証値ではありません。

●ハウス内の状況



- 使用上の注意**
1. 同製品はナス・一部の花・ミツバチを利用する栽培は避けて下さい。
 2. 殺虫及び殺菌効果はありませんので、発生状況に応じた適切な防除をして下さい。
 3. 同製品には裏と表があります。フィルムに印刷された文字がハウスの外側から見て正しく読めるように展開して下さい。
 4. 解反・展開時に防滴剤処理面（ハウスの内側になる面）を傷つけないようにして下さい。
 5. 展開時はフィルムのシワ・たるみを伸ばす程度に軽く引っ張って下さい。
 6. ハウスバンド等との摩擦により破れる事がありますので、ハウスバンドは緩めに張り、換気作業は丁寧に行って下さい。またスプリング状の止め具で固定する場合、できるだけ緩やかにを行うか専用の補助部材をご使用下さい。※1)
 7. 高温時にフィルムどうしが融着する恐れがありますので、展開途中や保管には十分ご注意願います。
 8. 防滴処理面が濡れたまま重ねて保管すると、処理面どうしが接着する場合がありますため、フィルムをよく乾燥させてから保管して下さい。
 9. 土壌熱消毒及び高温期での展開等によりフィルムの防滴性能が低下する恐れがありますのでご注意願います。
 10. イオウ燻蒸や散布・およびイオウ含有農薬の付着により、フィルムの劣化が促進される場合がありますのでご注意願います。
 11. アルミ・ステンレスなどの熱伝導性の高いハウス部材を使用した場合、フィルム接触面が蓄熱により劣化する可能性がありますのでご注意願います。
 12. 同製品は防霧配合ですが、キリ・モヤの発生が皆無ということではなく、季節栽培環境により多少の状況変化があります。

※1) 同製品の展開には「スカイコートバンドEX」「フルブルワイドEX」をお勧めします。

※規格については、予告なく変更する場合がありますので、ご了承下さい。



本社所在地：大阪市北区梅田三丁目1番3号
 事業部所在地：〒104-8321 東京都中央区京橋一丁目18番1号
 (03)-3535-4571
 アグリ事業部ホームページアドレス URL: <http://www.cik-agri.jp/>
 ※支店・営業所所在地・電話番号はホームページをご確認下さい。

代理店